

南山大学広報誌

# NANZAN BULLETIN vol. 200 2017. 3. 20

特集

カルマノ学長から  
鳥巢新学長へ



1967.1→2017.3

NANZAN  
UNIVERSITY





## カルマノ学長から鳥巢新学長へ

2008年4月の就任以来、2017年3月まで3期9年間、南山大学長を務めたミカエル・カルマノ学長から、この4月より鳥巢義文教授がバトンを引き継ぐ。キャンパス統合と共に新たな一步を踏み出す2017年の春、両者にその想いを伺った。



南山大学第6代学長 ミカエル・カルマノ (Michael Calmano)

### Personal History of President Calmano

1948年生まれ。ドイツ連邦共和国(旧西ドイツ)ヘッセン州リンブルク出身。ドイツの神学校と南山大学文学部神学科で神学を、アメリカで教育学を学ぶ。1975年、司祭叙階。1984年からは南山大学にて教鞭を執る。2008年4月、南山大学長に就任(～2017年3月)。カトリックの各種要職を兼任。趣味はクラシック音楽鑑賞と読書。

### カルマノ学長に聞く 「9年間を振り返って」

学長在任期間を通しての一大プロジェクトであった「キャンパス統合」がこの4月にいよいよ実現します。全学部・全学科を名古屋キャンパスに統合し、学部横断的な教育を展開していきます。なぜ瀬戸キャンパスを名古屋へ統合する必要があるのか。名古屋の中心地という利便性を確保し、すべての教育資源を一つの場所に集約することで、これまでよりも質の高い教育と研究環境を提供できるのではないかと。他学部・他学科間での交流を活性化し、学生・教員同士がお互いの違いを認め合い、協力しながら高め合っている環境を創出できるのではないかと。検討を重ね、見通しがついたところで、具体的にプロジェクトが動き始めた時はとても嬉しかったことを覚えています。

環境と体制は整いましたが、真の意味でのキャンパス統合はこれからです。完結までにはまだ時間がかかりますが、「One Campus Many Skills」というキーワードを掲げ、ひとつずつ着実に歩みを進めています。具体的には、2017年度より新たに「国際教養学部」を開設し、全学的に「クォーター制」を導入します。さらに「国際センター」と「外国語教育センター」を設立し、学部の垣根を越えた国際教育を推進していきます。

グローバル化への対応は各大学に共通する課題です。社会や産業界のニーズも高く、本学においても様々な取り組みが続けられました。それらが評価され、2016年6月の日経新聞の朝刊において「人事が見る大学イメージランキング」(日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが調査実施)の「グローバル化に熱心な大学」で、本学が全国4位となった



ことが掲載されました。これも本学が国際化に取り組んできた成果だと思います。

### 》「個の力を、世界の力に。」

南山大学のビジョン「個の力を、世界の力に。」には、人間の尊厳、多様性の確保、そして共生・協働の精神が示されています。豊かな国際性と専門性を併せ持ち、周囲の人々と協調しながら、目の前の課題に挑み、解決していけるよう、本学では「国境のない学びの場」を提供しています。

社会を良くするために自らの能力を磨き、それがやがて世界を変える力になっていく。例えば、いずれ社会に出て仕事をすると、言われたことをこなすだけでいいのでしょうか。社会のニーズに応えることは大切ですが、「本当のニーズとは何か」と常に原点に立ち返って自分に問いかけることを学生の皆さんには大事にして欲しいと思っています。勉強についても同様です。授業で教えてもらった知識を詰め込むだけでは「アクティブ」な学びにはなりません。自分自身に「こういうことを学びたい」という気持ちがあれば、真の知識として身につけていきます。何をするか、「個」をどう解釈するか。各々問いかけていただきたいと思います。

新たな試みとして、2017年度よりクォーター制を導入します。1年を4学期に分けることで、海外留学の選択肢が広がります。さらに短期間で集中的に学ぶことにより学修効果の向上が期待できます。そして、海外からの留学生の受け入れが容易になり、キャンパスの国際化が促進されるというメリットもあります。



現在検討しているのは、2年次あるいは3年次の第2クォーターに必修科目を設けず、これまで以上に短期留学がしやすい仕組みをつくること。すでに全学部でそれぞれの特色を生かした短期留学プログラムを展開しています。この仕組みをつくることにより、さらに多くの学生がその機会を利用してグローバルな視点を養えるようになります。

### 》自ら学べる環境作り

教えることと学ぶことは「= (イコール)」ではありません。学生に主体的な意欲がなければ真の意味で我々は教えることはできない……教える立場として、常に抱えている悩みです。学生が主体的に学ぶために、大学として何ができるか。知識の修得に留まらない新しい学びの形を見つけ出して欲しいという願いを込めて、私たちは学ぶための環境整備に取り組んでいます。

理工学部移転に伴い2015年2月に竣工したS棟や、キャンパス統合に向けて2017年2月に竣工した新棟(Q棟)では、無線LANやe-ラーニング、学生が使い慣れた情報機器端末を学習や研究に活用できるBYOD (Bring Your Own Device) のための情報環境を整備しました。今後も段階的にキャンパス全体の情報環境整備を進めていく予定です。

授業以外でも学生が集い学べる場所を提供するために整備したのが「ラーニング・コモンズ」です。従来からある図書館やS棟に加え、新棟(Q棟)には、広々とした空間と充実した環境を整えました。全ての学生が利用でき、自律的な学習を支援する共有スペースです。Wi-Fiを完備し、PCやタブレットを使って調査や資料作りができる他、プレゼンテーションの練習やグループワークも行えます。学生同士が自主的に議論・発表をする場として使われます。



### 》世界とわたり合える知識と意識を備えた国際人に

本学では、グローバル社会で活躍するために必要な確かな語学力と広い視野を養うために、全学部が4年間を通じて英語はもとより英語以外の外国語の能力向上にも注力します。加えて、英語のみで授業を行う「国際科目群」(2016年度は約60科目開講)を履修することにより海外留学に近い体験ができます。高度な外国語運用能力だけでなく、専門科目も英語で学ぶことができ、異文化や社会に対する理解力と常識にとらわれない思考力を持つ真の国際人になる。これこそが南山大学が追求する国際性です。

そして、2017年度より開設する国際教養学部では、文化の垣根や境界を乗り越えて、異なるイデオロギーや価値観を尊重し、持続可能な社会を実現するための積極的な行動力を養います。アクティブ・ラーニングの教育方法を活用し、地球規模の課題を解決するグローバルリーダーに求められる4つの力(外国語能力・教養力・探求力・実践力)を育みます。

また、海外留学や国際交流の機会をより多く、多種多様に提供できるようにするため、「国際センター」を設立し、学生一人ひとりの目標に合った国際教育プログラムの一層の充実をはかっていきます。

本学での学びは「真の国際人」になるための道へと通じています。教育業界ではよく「人材の育成」という言葉が使われますが、私が敢えてこだわってきたのは「人材」ではなく「人格の育成」に重きを置く、ということです。学生の皆さんには、大学生活を通して人間力を磨き、そして「人間とは何か、人生とは何か」と思いを馳せられる人になって欲しいと願いを込めて、2017年度からの舵取りを鳥巢新学長に託したいと思います。

### 鳥巢新学長に聞く 3つのキーワード「自覚・成長・円熟」



カルマノ学長がこれまで築き上げてきたことを引き継ぎ、2017年度は「One Campus Many Skills」を具現化する年になります。私自身としては、やるが多くて大変な一方、楽しみでもあります。

歴代の南山大学長の中で、私は45年ぶりの日本人です。そこで私は和の観点を入れた「自覚・成長・円熟」という3つのキーワードを念頭に置き、大学運営を進めていきたいと考えています。大学では、何かを教えられるのではなく、学生が自ら学ぶことが大切です。

そのためには、まず「自覚」すること。自覚するには問いかけが必要です。自分は何者なのか、何がしたいのか。それらが明確になると、自ずと勉強する中身が見えてきます。

次に「成長」。学んでいけば人は成長します。学生のみならず、私たち教職員も学び、成長していく必要があります。学生の皆さんには、4年間を振り返った時に南山で育てた「果実」を得られたと思えるような学生生活を送って欲しいと思います。もちろん、大学卒業で学びは完了、ということではありません。人生はそのあとともずっと続きます。学びが「円熟」して、その後の人生の実りとなるよう願っています。

2017年春、1つのキャンパスになって何が起るのか、試行錯誤をしながらも未来へ向かって歩みを進めていきます。南山大学が「世界から選ばれる大学」として、これからも成長を続けていくために、全8学部17学科が丸となり、多様な取り組みを実践し、「絶えざる自己改革」の精神で臨んでいきます。本学のこれからの新しい展開にご期待ください。

## The New President of Nanzan University

南山大学第7代学長 鳥巢義文 (とりす よしふみ)

### Personal History of President Toriyoshi

1954年生まれ。長崎市出身。洗礼名はミカエル。南山大学文学部哲学科および神学科卒業後、オーストリアのウィーン大学カトリック神学部博士課程を修了し、神学博士号を取得。1982年、司祭叙階。1992年より南山大学にて教鞭を執る。2008年、南山短期大学長に就任(～2011年3月)。2017年4月、南山大学長に就任。カトリックの各種要職を兼任。趣味は文芸作品の読書と映画鑑賞、旅。少し前のJ-POPとイタリア料理が好き。





学部・学科別志願者数・合格者数推移

Table showing application and admission numbers for 2017. Columns include department, subject/method, and various exam types (General, Unified, Center-based). Total applicants: 10,994; Total admissions: 8,902.

Table showing application and admission numbers for 2016. Columns include department, subject/method, and various exam types. Total applicants: 10,836; Total admissions: 9,448.

※ センター利用入試〔後期〕は除きます。センター利用入試〔後期〕の結果につきましては、大学Webページ「受験生の皆様」にてご確認ください。

主要3入試(センター利用入試〔後期〕除く)の志願者数は増加

2017年度入試の志願者数は、一般入試が10,994人、全学統一入試が5,438人、センター利用入試が3,691人、前期3教科型が2,102人、主要3入試の合計は25,386人となり、昨年度からは77人の増加(昨年度比100.3%)となりました。

2017年度入試の概況

2017年度入試では、2017年4月開設の国際教養学部の試験を新たに実施しました。また、外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科、フランス学科、ドイツ学科、アジア学科では、2017年度より2専攻制を導入します。これを受け、一般入試では専攻毎、一般入試以外の入試方式では学科毎に募集し合否判定を行いました。試験当日は積雪が予想されましたが、試験時間を遅らせることなく無事に終了しました。

合格発表

合格発表は2月20日に、Webページ上に合格者の受験番号を掲載し、併せて合格通知書(入得手続書類を含む)を送付する形で行いました。今年度の合格者数は、一般入試が3,186人、全学統一入試が1,314人、センター利用入試が1,221人、センター利用入試〔前期3教科型〕が1,809人、〔前期5教科型〕が1,372人でした。

2017年度入試 都道府県別志願者数・合格者数

Table of application and admission numbers by prefecture for 2017. Includes columns for prefecture, applicants, and admissions. Total applicants: 25,386; Total admissions: 8,902.

活躍する南山大生

愛知県消防団のロゴマークに採用

昨年の「消防団カレッジフェスティバル」で消防団エンプレムコンテスト最優秀賞を受賞した、経済学部2年の児玉京子さんの作品が、愛知県消防団のロゴマークに採用されました。愛知県では、消防団の加入促進を図るため「あいち消防団応援の店」事業を1月20日に開始し、消防団を応援する店舗に交付するステッカーや、県が発行する「消防団員カード」、「消防団員家族カード」に見玉さんがデザインしたロゴマークを使用しています。児玉さんは第1回あいち消防団応援サポーターに任命され、今後もイベント等でPR活動を行う予定です。



経営学部(川北ゼミ) 産学連携プロジェクト「ためになるほどクラシック」開催

2月4日、クラシック・コンサートホールの宗次ホールで、経営学部川北ゼミ3年の企画したイベント「ためになるほどクラシック」(通称:なるくら)が開催されました。この企画は、昨年の5月から8月にかけて開催された宗次ホールマーケティングコンテストで優勝し開催に至った産学連携プロジェクトです。クラシック初心者でも「なるほど」と思えるような気軽な楽しめる音楽講座と、普段は話を聞く機会が少ない演奏者との座談会が組み込まれ、学生がクラシック初心者の目線に立ち、コンサート曲目なども決定しました。

参加者からは「クラシックが意外と身近であると感じた」、「『なるほど』がたっくんあった」、「音楽講座のおかげでコンサートをより楽しめた」など満足の声があがりました。



2017.2.24

2月24日に、駐日コロンビア共和国特命全権大使ガブリエル・ドゥケ氏ならびに駐日コロンビア共和国全権公使アレハンドロ・ボサダ氏が来学されました。カルマン学長を表敬訪問された後、ドゥケ氏は、名古屋キャンパスR棟で国際教育センター主催、ラテンアメリカ研究センター共催の公開講演会で講師をされ、「今日(ごん)へのコロンビア」と題し、コロンビアの文化・経済・社会についてお話しされました。





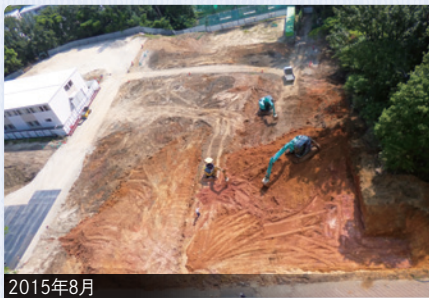
# キャンパス統合

# News

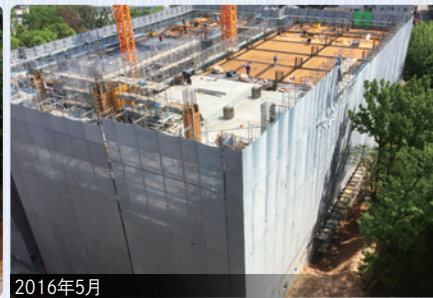
## 名古屋キャンパス 新研究・教室棟「Q棟」竣工

2017年度のキャンパス統合に向けて、2015年から建築を進めてきた新研究・教室棟「Q棟」が、2017年2月末に竣工し、4月から使用を開始します。

新教室棟エリア



2015年8月



2016年5月



2017年2月

### 「Q棟」の概要

南山大学の敷地北側に完成したQ棟（地上7階・地下1階）は、2階にキャリア支援室と学生の主体的な学びを支援する「ラーニング・commons」を整備し、5～6階に総合政策学部の教員研究室、7階に国際教養学部の教員研究室が入ります。1～7階に大小あわせて34の全学共用の教室が整備され、建物の北側には、テニスコート2面が新設されます。



Q棟外観（北側から撮影）



中庭



エントランスロビー吹き抜けにあるレリーフ



ラーニング・commons(2階)



正面エントランス



最上階からの景色(7階)

### 今後の計画について (2017年度以降)

- セミナー室やラーニング・commons等の学生の居場所の整備
- 既存教室・既存施設の保全と機能向上を図るための改修
- キャンパス内動線に沿った施設の整備やエレベーター増設等のユニバーサル化を行う予定です。

### 瀬戸キャンパスから

#### 瀬戸キャンパス移転

2017年4月に、全学部・全学科を名古屋キャンパスへ統合することに伴い、3月31日をもって、瀬戸キャンパスを移転します。

今後、聖霊中学・高等学校が、2019年4月を目標として、瀬戸キャンパスの教室等を活用しながら、必要となる施設を新設し、利用することが決定しています。

#### 瀬戸キャンパス クロージング・フェアウェル・パーティー開催

2月4日、卒業生有志による主催で、瀬戸キャンパスクロージング・フェアウェル・パーティーを開催し、卒業生やその家族、大学関係者を含め330名を超える参加者が瀬戸キャンパスに集いました。南山学園ハンズ・ユージェン・マルクス理事長ならびに南山大学ミカエル・カルマノ学長もパーティーに駆けつけ、挨拶を述べました。瀬戸キャンパスとの別れを惜しむ卒業生は、恩師や友人と学生時代の日々を語りながら親睦を深め、瀬戸キャンパスでの素敵な思い出を作りました。



#### 南山大学将来構想基金のお願い

南山大学におけるキャンパス整備をはじめとする将来構想を実現するための諸活動に対する支援として、引き続き皆様からの基金のご支援をお待ち致しております。

なお、2016年4月から基金のお申込方法を増やし、手続きを簡略化しました。詳しくは大学Webページ「南山大学将来構想基金のお願い」をご覧ください。趣旨をご理解いただき、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/bokin/index.html>



# News

### 第3回南山大学卒業生 キャリア・アドバイザーと在学生との交流会

2017年2月25日、名古屋キャンパスで「南山大学卒業生キャリア・アドバイザーと在学生との交流会」を開催しました。幅広い世代にわたる、様々なキャリアをもったアドバイザーが参加し、学生たちは先輩の話に熱心に耳を傾けていました。今後も南山大学から社会で活躍できる人材を多く輩出できるよう、卒業生と在学生とのネットワーク構築・強化を目指して、このような機会を設けていく予定です。



#### キャリア・アドバイザーとは

キャリア・アドバイザーに登録いただいた皆様には、本学主催の各種プログラムへの参加や個別相談への対応を通じて、在学生にアドバイスをお送りいただけます。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

キャリア・アドバイザー登録フォーム：  
<https://career.jim.nanzan-u.ac.jp/ca/>

### 2017年度 南山エクステンション・カレッジ 学生向け特別講座

学生時代は自らのキャリア形成やスキルアップのチャンス。南山エクステンション・カレッジでは、学生生活を充実させたい、将来の進路に役立つ資格を取りたい、いま持っているスキルをさらに向上させたいなど、意欲ある学生に各種の講座(有料)を提供しています。

講座名 / 開講期間	講座開講曜日	申込締切日
公務員試験対策講座(総合コース) 2017年5月13日(土)～2018年1月20日(土)	水・土	4月24日(月)
公務員試験対策講座(教養コース) 2017年5月13日(土)～2018年1月20日(土)	土	4月24日(月)
秘書検定準1級対策講座 2017年6月14日(水)～2017年10月18日(水)	水	5月29日(月)
エアライン就職対策講座(春学期) 2017年6月17日(土)～2017年7月15日(土)	土	5月29日(月)
エアライン就職対策講座(秋学期) 2017年10月14日(土)～2017年12月2日(土)	土	9月25日(月)
教員採用試験対策講座(基礎コース) 2017年10月14日(土)～2018年1月27日(土)	土	9月25日(月)

このほかに、南山エクステンション・カレッジ公開講座として、「日商簿記3級検定試験対策講座」、「3級ファイナンシャルプランニング技能士検定試験対策講座」などを開講しています。

日程等は南山エクステンション・カレッジのWebページ等でお知らせしています。

申し込み・問い合わせ 南山エクステンション・カレッジ事務局(名古屋キャンパスL棟1階)  
Phone:052-833-6957 Fax:052-832-4306  
詳細は、南山エクステンション・カレッジのWebページをご覧ください。  
<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>



2017.1.13

## 2017年春学期外国人留学生別科入学式

1月13日、名古屋キャンパスのフラッテンホールで、外国人留学生別科の入学式を執り行い、14の国と地域から46名の新生を迎えました。これから日本の文化と日本語を学ぶ留学生のみなさんにカルマノ学長より激励の挨拶がありました。



## 本学名誉教授2名が秋の叙勲受章

平成28年秋の叙勲において、早川正一名誉教授が瑞宝中綬章を、伴紀子名誉教授が瑞宝小綬章をそれぞれ受章しました。

早川名誉教授は、1963年南山大学文学部助手となった後、68年同講師、74年同助教授、82年同教授、2000年人文学部教授に就任。文学部人類学科長などを歴任し、2006年本学名誉教授に就任しました。

伴名誉教授は、1971年南山大学教務助手となった後、74年南山大学外国人留学生別科講師、77年同助教授、86年同外国語学部教授、2000年人文学部教授に就任。外国人留学生別科長、外国語学部日本語学科長などを歴任し、2006年本学名誉教授に就任しました。

## Information

### 2016年度 学生部長表彰

個人もしくは団体が課外活動において特に優れた成績をおさめたとき、または課外活動に著しく貢献したとき、特に顕著な善行を認められたとき、学生部長表彰が授与されます。

【個人】9名

学生氏名	所属名(男女別)	対象となる主な活動
金田 莉朋	洋弓部女子	2016年度東海学生アーチェリー王座出場校決定戦 8位、第27回全日本学生アーチェリー東日本大会 25位
加藤 大夢	基礎スキー部	第37回東海学生基礎スキー選手権大会 男子個人 総合優勝
大西 友里	基礎スキー部	第37回東海学生基礎スキー選手権大会 女子個人 総合優勝
吉田 悠人	陸上競技部	第43回東海学生陸上競技秋季選手権大会 男子1,500m 4位
春日井 陽介	弓道部男子	第59回東海学生弓道選手権大会 男子個人 4位、第71回国民体育大会2016希望郷いわて国体 東海ブロック出場(岐阜県成年男子の部代表)、第66回回三十三間堂の全国大会 2位、第47回全日本学生弓道遠的選手権大会 3位
林 凌太郎	水泳部	第92回日本学生選手権水泳競技大会 100m自由形・200m自由形 出場
紀太 直哉	水泳部	第92回日本学生選手権水泳競技大会 200m自由形・200m個人メドレー 出場
水野 誠豪	水泳部	第92回日本学生選手権水泳競技大会 200m個人メドレー 出場
市川 雄規	トライアスロン部	第28回蒲郡オレシントライアスロン学生選手権(東海・北陸学生トライアスロン選手権) 4位、日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 108位

【団体】7団体

団体名(男女別)	対象となる主な活動
基礎スキー部	第37回東海学生基礎スキー選手権大会 男子王座決定戦 優勝 第37回東海学生基礎スキー選手権大会 女子王座決定戦 優勝
経営学部 石垣ゼミ	大学祭模擬店での純利益273,000円を平成28年熊本地震の被災地支援の取組「FOR KUMAMOTO PROJECT」に寄付
ハンドボール部女子	平成28年度東海学生ハンドボール秋季リーグ戦 2部リーグ 優勝、1部リーグへ昇格
経営学部 川北ゼミ	商品開発コンテスト SkalE(Student Innovation College)2016 プラン・テーマ1位(3チーム)、プラン準優勝(1チーム) 宗次ホール主催 音楽ホールマーケティングコンテスト 優勝、宗次徳二賞
南短ガールズプロジェクト	ボランティア書き損じはがきキャンペーン2016および2017参加、ジンパエの寄宿建設プロジェクトへ284,287円を寄付
ソフトボール部	中京テレビ杯平成28年度秋季第79回東海地区男子ソフトボールリーグ戦 二部優勝 第42回愛知県一般男子一部・二部入れ替え戦 一部昇格
総合政策学部 鶴見ゼミ	日本政策学生会議(ISFJ)政策フォーラム 優秀賞(126チーム中上位5チーム以内)

### 寄附者ご芳名

「南山大学将来構想募金」へのご協力に感謝いたします。

正村 善広 様 藤村 晶 様 澤田 常雄 様  
前川 勝平 様 玉井 高明 様 末廣 等 様  
三田佳奈未 様 中村弥寿子 様 高橋 澄 様  
堀川 誠 様 諸岡 雅仁 様 武田 正博 様  
稲垣富子 様 小出 辰夫 様 濱千代智秀 様  
小出洋一郎 様 弓田 篤 様 郷司まい子 様  
伊藤 道子 様 原田美智子 様 郷司 直樹 様  
諸岡千佐子 様 内藤 寛之 様 匿名ご希望者  
河村 光徳 様 板谷 光浩 様 18名様  
長谷川敏江 様 中村 美枝 様

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

三機工業株式会社中部支社 様  
南山大学後援会 様  
正村 善広 様  
堀川 誠 様  
小出洋一郎 様  
匿名ご希望者  
2名様

### 次期学長・副学長決定

1月27日開催の学園理事会において、次期南山大学学長および南山大学短期大学部学長を、また、1月20日開催の学内理事会において、次期副学長を決定しました。任期はいずれも2017年4月1日から2020年3月31日までの3年間で。

役職名	氏名
南山大学学長	
南山大学短期大学部学長	鳥巢 義文(人文学部 教授)
副学長(総務担当・将来構想担当)	青木 清(法学部 教授)
副学長(教学担当)	吉田 竹也(人文学部 教授)
副学長(国際担当)	星野 昌裕(総合政策学部 教授)

### 新任用教員紹介

2017年1月1日付

●理工学部  
助教  
江坂 篤侍  
(専攻分野:ソフトウェア工学)

### 『南山ブレティン 200号』発行

南山大学広報誌『NANZAN BULLETIN』は、おかげさまで200号を迎えました。1967年1月に創刊し、約50年の月日が流れました。

今後も、本学に関する様々なニュース、教育・研究活動の紹介、学生の取り組みなど、幅広く皆様にご紹介し、ご愛読に応えられる誌面づくりをして参ります。

創刊号  
(1967年1月9日発行)

